

# 1号議案

## 平成16年度事業報告

今期は、第54回医学検査学会の総仕上げの年になり、様々な検討がなされ着々と準備が進みました。また、50周年のまとめとして記念誌の発刊も遅ればせながらも取り組んできました。さらに組織の見直しにも取り組み、諸規定の検討および定款の見直しも行っています。

検査をめぐる状況は刻々と変化しており、DPCの波及や多職種型の医療への取り組みも始まっています。他方で患者の側からは「安全・安心で質の高い医療」への要求があります。我々がいかに患者・国民の要求に応える検査を構築していくかが問われていると思います。日本の医療制度を守る運動を医師会・保険医協会から呼びかけられて賛同団体に加わっていますが会員への浸透は今後の課題です。職能と学術の両面の活動強化が求められます。

### 1. 衛生思想及啓発事業

- 1) 第31回くらしと健康展が9月18日(土)、19日(日)に、京都府総合見本市会館(パルスプラザ)で開催された。併催の『S K Yふれあいフェスティバル2004』の会場内で行われた。主催は京都府医師会・京都府糖尿病協会・京都市栄養士会・京都府臨床衛生検査技師会・京都府看護協会・京都府放射線技師会・京都市・京都府。今年のテーマは『見直そう生活習慣、のばそう健康寿命』でした。臨床衛生検査技師会は、検査コーナーを担当し心電図検査と血糖検査を実施しました。また、顕微鏡コーナーとして『血液検査』をテーマに取り上げました。両日で検査コーナーに来られた方は、心電図検査(584名)、血糖検査(1069名)、顕微鏡コーナー(383名)、昨年同様に多くの方が検査コーナーに参加されました。特に、顕微鏡コーナーでは、自分の血液細胞が見られることと血液研究班の方々の熱のこもった説明で予想以上の参加者となった。出務者は、延べ技師会会員16名と、フクダ電子京滋販売株式会社とバイエルメディカル株式会社の方のサポートを受け、検査と展示を行った。
- 2) プライマリ・ケア市民講座として、平成16年12月8日(水)に佛教大学四条センターで「糖尿病と臨床検査 検査値と上手につき合う方法」の演題で白波瀬 浩幸(市立舞鶴市民病院)副会長が講演しました。

### 2. 地域保健事業

- 1) 京都府糖尿病協会への参加  
京都府糖尿病協会に理事として参加し、協会の事業に参加すると共に会の活動に寄与している。
- 2) 成人病検診健康管理指導協議会の子宮ガン部会に役員を派遣しています。
- 3) 京都府衛生検査所精度管理専門委員会に参加し、府内の衛生検査所の立ち入り調査を行った。
- 4) 京都府臨床衛生検査技師会からの医療関連サービス制度実地調査員として、3カ所の衛生検査所の指導監督を行いました。

### 3. 研究及び講習会事業

- 1) 公開講演会では、平成16年5月22日(土)、平成16年度総会の記念講演を岡村 均先生(神戸大学院脳科学講座)に「体内時計」の演題で講演していただいた。
- 2) 第15回京臨技北部学術発表会は、平成16年11月27日(土)、綾部市ITビルにて、109名の参加の下、盛大に開催された。一般演題10題、特別講演2題の発表があった。  
特別講演 「ICTをどのように機能させるか~院内感染対策の実際~」(荒川先生)について。  
特別講演 「NSTにおける臨床検査技師の役割」(小倉先生)について。
- 3) 第39回京都病院学会(清水幸夫学会長)が6月13日(日)に京都府医師会館を中心に開催され、349演題が発表され1852名が参加した。臨床検査部門からは、生理・管理・輸血・微生物・内視鏡より36題が発表され活発な討論が行なわれました。指定演題の「クリニカルパスの取り組み」には、各職種より10題の発表があり、シンポジウムも含め取組みの成果と課題について討論した。特別講演は弁護士の中坊公平氏より「いま医療に求められているもの」と題し医療事故を始めとする訴訟を弁護士の立場より講演していただいた。
- 4) 研究班活動は、日臨技生涯教育に沿った研修会を実施した。

各研究班の研修会内容の詳細は学術・生涯教育委員会活動報告に記載した。

学術部合同講演会は平成 16 年 9 月 11 日に、インターサイト、細胞検査士会 HP をはじめ情報システム研究班など、細胞診断学のみならず多方面でも活躍の鷺谷清忠氏（秋田中通総合病院）を招いて講演会を開催した。内容は、1. デジタル画像処理について（精度管理）、2. 著作権に関する事、3. PC を使い具体的に画像処理を行なう、の 3 部で構成され、本年京都で開催する第 54 回日本医学検査学会のシンポジウムをプレビューする内容もあった。

- 5) 第 6 回京臨技新入(転入)会員研修会は平成 16 年 10 月 8 日(金) 京都教育文化センターで行われ、講演会は臼井正広(北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所)講師で「臨床検査技師のキャリアアップ」で講演していただいた。参加人数は 29 人であった。

#### 4. 精度管理事業

- 1) 第 20 回京臨技精度管理調査は 10 月 21 日～11 月 5 日の期間で実施した。  
京都府下 83 施設の参加があった。
- 2) 京都府衛生検査所精度管理専門委員会に参加し、衛生検査所の精度管理の向上に努力した。
- 3) 医療関連サービス振興会の調査員として、3ヶ所の登録検査所の調査を行った。

#### 5. 会誌事業

- 1) 年 6 回の発行の内容は、会誌の発刊スタイルとして会誌は 2 回、会報は 4 回で対応した。  
ホームページの充実に伴い今後この発刊スタイルで行いたい。本誌の充実はひとえに会員諸氏の投稿に委ねている状況であるため、多くの投稿を期待する。

#### 6. 総務事業

- 1) 会員への会誌の送付方法を個人宛てに変更し、情報が確実に届くようにした。
- 2) 医師会の呼びかけに応じ、京都府医療推進協議会に参加した。
- 3) 京都府保険医協会の「医療・社会保障を国民にとりもどす」連続フォーラムに参加した。

#### 7. 特別事業

平成 16 年度は、第 54 回日本医学検査学会(平成 17 年 5 月 13 日(金)・14 日(土)、国立京都国際会館)の準備のため組織委員会や実行委員会等の多くの会議が開催された。主な事項は次の通りである。

##### 1) ポスター、パンフレットの作製と配布

ポスター、パンフレットは平成 16 年 5 月に作製され、京都学会の PR のために、5 月の富山学会で配布するとともに、都道府県技師会を通して日臨技会員に送付した。

##### 2) 富山学会での活動

富山学会では、京都学会の実行委員の有志が富山学会の会議に参加させてもらい、各部署にて学会運営の実際を調査見学した。

##### 3) 学会企画

###### (1) 学会特別企画

平成 15 年 11 月開催の日臨技第二回学会企画委員会で次の学会特別企画が決定された。

特別講演、学会長講演、教育講演 8 題、シンポジウム 6 題、パネルディスカッション 3 題、教育カンファレンス 4 題、フォーラム 3 題、ワークショップ 4 題

###### (2) 一般演題

平成 16 年 11 月 19 日(金)に締め切られた一般演題の申込数は 578 題であった。

###### (3) 日臨技学会プログラム委員会

平成 17 年 1 月 16 日(日)開催の日臨技学会プログラム委員会において、上記の学会特別企画、一般演題(口演: 507 題、示説: 71 題)をはじめ、各種セミナー 27 題等を含めた学会プログラムが決定され、機関誌「医学検査」Vol. 53, No. 4, 2005 の抄録集に掲載される。

###### (4) 時代の要求に沿った新しい試み

Web だけによる一般演題の受付

PC プロジェクターだけを用いた口演発表

発表用スライドがファイルされた CD-R の当日受付

演壇にて演者自身が行うスライド映写

##### 4) 展示発表会

第1回日臨技展示委員会（平成16年7月10日）、第2回日臨技展示委員会（平成16年12月11日）、学会展示説明会（平成17年2月25日）を経てイベントホールとアネックスホールでの展示発表会が決定された。出展会社数は100社、出展小間数は878小間であった。

5) その他の催し

託児所：(株)ポピンスコーポレーション芦屋支社に委託、開設場所：会館内の509号室、定員：20名程度（生後8週以降から小学校6年生）、費用：一日2千円、申込締切日：2005年3月31日。

お茶席：庭園にある茶室「宝松庵」で、5月13日（金）は社団法人茶道裏千家淡交会京都北支部葵青年部の皆様に、5月14日（土）は寺沢宗典先生ご指導のもと明治鍼灸大学茶道部の皆様に担当していただきました。お茶券を500円で各日200枚販売いたしました。

リラクゼーションコーナー：明治鍼灸大学教職員による鍼灸コーナー（施術（肩、頸、腕に限る）、自分でできるツボ療法指導ら）と柔整コーナー（自分でできるストレッチ指導）を「さくら」に設置。

書籍販売コーナー：日臨技図書販売コーナーの他に2社の書籍販売コーナーを「さくら」に設置。

物産展をスワンに設置

宅配コーナースワンに設置

6) 日臨技との定期総会、開会式・表彰式の打ち合わせ会議（平成17年3月12日）が国立京都国際会館で開かれ、本番に向けての詳細な準備、打ち合わせが行われた。

7) 学会運営

(1) 各部門において学会進行のための準備が進められた。

(2) 学会運営を円滑に進行させるために、必要な実務委員を募り、各部署に配置した。

(3) 学会運営マニュアル作製の準備が進められた。

# 平成16年度事業活動報告

\* 敬称略 \*

## 1. 事業部活動

### 1) (社) 京都府臨床衛生検査技師会 平成16年度定期総会

日 時：平成14年5月22日(土) 14:30~16:00

会 場：京都アスニー 第8会議室

参加者：462人

会 員：458人(委任状419)

### 2) 公開講演会

日 時：平成16年5月22日(土) 16:00~18:00

会 場：京都アスニー 第8会議室

主 題：「体内の時計は遺伝子で決まる」

講 師：岡村 均(神戸大学院脳科学講座)

参加者：73人

会 員：39人

### 3) 第39回京都病院学会

日 時：平成16年6月13日(日) 9:00~17:00

会 場：京都府医師会館、京都市立看護短大

共 催：京都府病院協会、京都私立病院協会

後 援：京都府、京都市、京都府医師会

参加者：1852人

### 4) 第31回くらしと健康展

日 時：平成16年9月18日(土) 10:00~17:00

平成16年9月19日(日) 9:00~16:00

会 場：京都府見本市会館(パルスプラザ)

共 催：京都府、京都市、京都府医師会、京都府病院協会、

京都私立病院協会

参加者：2000人

### 5) 第6回新入(転入)会員研修会

日 時：平成16年10月8日(金) 18:0~21:00

会 場：京都教育文化センター

主 題：「臨床検査技師のキャリアアップ」

講 師：臼井 正広(北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所)

参加者：29人

### 6) 第15回北部学術発表会

日 時：平成16年11月27日(土) 12:30~17:30

会 場：綾部市ITビル

参加者：109人

## 2. 研究班活動

### A) 生理検査研究班

今年度の総括「ほぼ例年通りの研修会であったが、今年度は新しい試みとして糖尿病療養指導士講習会を行った。参加していただいた方々には満足していただける内容であったようだが、残念ながら検査技師の参加者が少なかった。原因の一つにPR不足が考えられた。」

- 1) 日 時：平成16年05月22日(土) 15:00~17:00  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：心電図講習会 初級編その1  
講 師：川口 崇(府立与謝の海病院)  
参加者：23人(申請中含む)  
会 員：19人
  
- 2) 日 時：平成16年06月12日(土) 15:00~17:00  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：心電図講習会 初級編その2  
講 師：川口 崇(府立与謝の海病院)  
参加者：19人  
会 員：15人
  
- 3) 日 時：平成16年06月29日(火) 19:00~20:30  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：聴力検査研修会  
副 題：言語聴覚療法について  
講 師：三田村 啓子(辻みみはなのクリニック)  
参加者：13人  
会 員：13人
  
- 4) 日 時：平成16年07月03日(土) 15:00~17:00  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：超音波基礎セミナー  
講 師：大道 和也(東芝メディカルシステムズ株式会社)  
参加者：21人  
会 員：21人
  
- 5) 日 時：平成16年07月16日(金) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：抹消血管エコー  
副 題：医師が技師に求める抹消血管エコー  
講 師：川西 昌浩(武田総合病院脳神経外科部長)  
参加者：28人  
会 員：27人
  
- 6) 日 時：平成16年09月11日(土) 14:00~17:00  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：心臓・腹部・頸部超音波実技講習会

副 題：初級、中級者を中心に  
講 師：濱田 啓子（東芝メディカルシステムズ株式会社）  
講 師：澤 政樹（フィリップスメディカル）  
講 師：荻野 和大（三菱京都病院）  
参加者：25人  
会 員：23人

7) 日 時：平成16年10月28日（木） 18:30～20:30  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：心電図セミナー中上級編  
副 題：AEDとICD  
講 師：河野 裕（三菱京都病院心臓内科不整脈）  
参加者：20人  
会 員：20人

8) 日 時：平成17年02月16日（水） 18:30～20:30  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：脳波セミナー  
副 題：睡眠時無呼吸症候群検査の判読  
講 師：森田 瑞枝（テイジンファーマー株式会社）  
参加者：19人  
会 員：18人

9) 日 時：平成17年02月25日（金） 18:30～20:30  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：生理検査症例検討会  
副 題：超音波検査を中心に  
講 師：武田 千恵美（医人会武田総合病院）  
講 師：辻 真一郎（京都民医連中央病院）  
講 師：鮎川 宏之（医人会武田総合病院）  
講 師：山田 宣幸（三菱京都病院）  
参加者：32人  
会 員：32人

10) 日 時：平成17年03月16日（水） 18:30～20:30  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：精度管理報告会  
講 師：山田 宣幸（三菱京都病院）  
参加者：19人 会 員：18人

特) 日 時：平成16年12月12日（日） 13:00～17:00  
会 場：パルルプラザ京都  
主 題：第一回京都糖尿病療養指導士講習会  
副 題：患者さまから信頼される京都糖尿病療養指導士をめざして  
講 師：坂根 直樹（京都医療センター予防医学研究室）  
講 師：鞍田 三貴（大阪医療センター栄養管理室）  
講 師：横山 有子（渡辺内科クリニック）  
参加者：26人  
会 員：10人

## B) 輸血検査研究班

今年度の総括「安全な輸血を実施するための知識および技術において、基礎的なことを中心に研修会や実技講習会を行った。」

- 1) 日 時：平成16年06月26日(土) 13:00~17:00  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：輸血検査実技講習会1  
副 題：ABO・Rh(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ  
講 師：小黒 博之(オリンパス(株)ライフサイエンスカンパニー・ダイアグノスティック・システムズ 国内営業部)  
参加者：32人  
会 員：31人
- 2) 日 時：平成16年07月10日(土) 9:00~17:00  
会 場：京都保健衛生専門学校  
主 題：輸血検査実技講習会2  
副 題：不規則抗体スクリーニング、抗体同定試験、抗体解離試験、クロスマッチ  
講 師：小黒 博之(オリンパス(株)ライフサイエンスカンパニー・ダイアグノスティック・システムズ 国内営業部)  
参加者：27人  
会 員：27人
- 3) 日 時：平成16年09月25日(土) 14:00~17:00  
会 場：京都アスニー  
主 題：輸血検査基礎勉強会1  
副 題：輸血検査Q&A  
講 師：多気秀和(京都第一赤十字病院)他 研究班運営委員  
参加者：22人  
会 員：22人
- 4) 日 時：平成16年10月16日(土) 14:00~17:00  
会 場：京都アスニー  
主 題：輸血検査基礎勉強会2  
副 題：輸血検査Q&A  
講 師：多気秀和(京都第一赤十字病院)他 研究班運営委員  
参加者：24人  
会 員：24人
- 5) 日 時：平成16年12月11日(土) 14:00~17:00  
会 場：京都アスニー  
主 題：輸血検査学術講演会1  
副 題：日常輸血検査における問題解決  
講 師：古杉 光明(オーソ・クリニカルダイアグノスティックス(株)テクニカルサービスセンター)  
参加者：56人  
会 員：56人

- 6) 日 時：平成17年02月05日(土) 14:00~17:00  
会 場：京都アスニー  
主 題：輸血検査学術講演会2  
副 題：赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドラインに沿った輸血検査  
講 師：小黒 博之(オリンパス株式会社 ダイアグノスティックシステムズ国内営業部  
西日本輸血グループ)  
参加者：47人  
会 員：44人

### C) 血清検査研究班

今年度の総括「血清研究班ではこの一年、免疫反応の基礎から応用までを主体として勉強会を行った。日ごろのルーチン業務では、なにかと忘れがちな点を再確認でき、様々な視点から理解できたことを、今年度の総括とする。」

- 1) 日 時：平成16年04月28日(金) 19:00~20:00  
会 場：京都アスニー  
主 題：血清精度管理報告会  
講 師：荒賀 智永(公立南丹病院)  
参加者：8人  
会 員：7人
- 2) 日 時：平成16年07月12日(月) 19:00~20:00  
会 場：京都アスニー  
主 題：免疫学の基礎講座 パート 1  
副 題：体細胞性免疫について ぱーと1  
講 師：高木 淳(アボットジャパン)  
参加者：10人  
会 員：8人
- 3) 日 時：平成16年09月22日(水) 19:00~20:00  
会 場：京都アスニー  
主 題：免疫学の基礎講座 パート2  
副 題：生体反応としての免疫 単球を中心に。  
講 師：高木 淳(アボットジャパン)  
参加者：8人  
会 員：5人

### D) 血液研究班

今年度の総括「講演会、研修会の回数が予定より少なかった。しかし奥の深い内容でやれたので聞かれた方は満足されていると思う。鏡検実習が今年度は出来なかったのが残念である。」

- 1) 日 時：平成16年08月21日(土) 14:00~17:00  
会 場：キャンパスプラザ京都  
主 題：最近の白血病治療  
副 題：白血病の形態から治療まで  
講 師：木村 晋也(京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)  
参加者：52人  
会 員：45人

- 2) 日 時：平成16年11月06日(土) 14:00~17:00  
 会 場：キャンパスプラザ京都  
 主 題：外傷急性期における重症度と凝固線溶動態  
 副 題：分子マーカーを用いた検討より  
 講 師：福田 篤久(大阪府泉州救命救急センター 検査室)  
 参加者：19人  
 会 員：19人
- 3) 日 時：平成17年03月12日(土) 14:00~17:40  
 会 場：キャンパスプラザ京都  
 主 題1：技師会精度管理報告  
 講 師：由木 洋一(京都府立医大病院 検査部)  
 主 題2：血液検査室のための血液学的腫瘍WHO分類  
 講 師：坂場 幸治(防衛医科大学校病院 検査部)  
 参加者：64人  
 会 員：52人(京都府36人、他府県16人)  
 協 賛：シスメックス株式会社

#### E) 臨床化学検査研究班

今年度の総括「自動分析装置を扱う上での基本的な知識の整理と、近年のトピックスの一つであるBNPの臨床的役割について学習を行った。」

- 1) 日 時：平成16年05月26日(水) 18:30~19:50  
 会 場：京都キャンパスプラザ 5F 第3演習室  
 主 題：データ不良の原因と対策(総論)  
 講 師：木本 純也(株式会社シノテスト 応用技術部)  
 参加者：19人  
 会 員：19人
- 2) 日 時：平成16年06月17日(木) 18:30~20:00  
 会 場：京都アスニー 3F 第4研修室  
 主 題：コンタミネーションの仕組みと対策  
 講 師：木本 純也(株式会社シノテスト 応用技術部)  
 参加者：19人  
 会 員：14人
- 3) 日 時：平成16年07月14日(水) 18:30~19:50  
 会 場：京都キャンパスプラザ 5F 第2演習室  
 主 題：精度管理と標準化  
 副 題：トレーサビリティ、バリデーションとは？  
 講 師：北野 仁(株式会社シノテスト 応用技術部)  
 参加者：16人  
 会 員：10人
- 4) 日 時：平成16年10月07日(木) 19:00~20:30  
 会 場：ぱるるプラザ京都 4階 研修室 Room No. 3  
 主 題：BNPの臨床的意義について

講 師：蔦元 尚慶（滋賀医科大学 呼吸循環器内科）  
参加者：22人  
会 員：19人

#### F) 病理検査研究班

今年度の総括「研修会は、昨年に引き続き安全管理について取り上げ、多数の会員の参加が得られた。精度管理は、実施方法および判定・報告の仕方などについて、検討が必要と思われる。」

- 1) 日 時：平成16年06月12日(土) 15:30~17:00  
会 場：京都府立医科大学臨床講義棟2階南臨床講義室  
主 題：危険がいっぱい、病理・血液検査室  
副 題：試薬の安全な取り扱いについて  
講 師：渡辺 明朗 氏(メルク株式会社)  
参加者：19人  
会 員：19人
- 2) 日 時：平成17年02月05日(土) 14:00~15:30  
会 場：京都府立医科大学臨床講義棟2階南臨床講義室  
主 題：第20回 京臨技精度管理報告会  
副 題：病理検査  
講 師：磯島 善孝 技師(京都府立医科大学附属病院)  
参加者：24人  
会 員：23人
- 3) 日 時：平成17年02月05日(土) 15:30~17:00  
会 場：京都府立医科大学臨床講義棟2階南臨床講義室  
主 題：いまさらきけない リスクマネージメントってなに？  
講 師：林 孝俊 技師(京都民医連中央病院)  
参加者：23人  
会 員：23人

#### G) 細胞検査研究班

今年度の総括「今年度は研修会の開催が3回と少なかったので、来年度は回数及び内容をさらに充実させたい」

- 1) 日 時：平成16年06月12日(土) 14:00~15:00  
会 場：京都府立医科大学臨床講義棟2階南臨床講義室  
主 題：ギムザ染色の原理  
副 題：塗抹(細胞診・血液塗抹)と切片(ホルマリン固定)の違いと染色のポイント  
講 師：渡辺 明朗(メルク株式会社)  
参加者：19人  
会 員：19人
- 2) 日 時：平成16年10月23日(土) 14:00~17:00  
会 場：京都府立医科大学臨床講義棟2階南臨床講義室  
主 題：細胞診スライド模擬試験(全科)  
講 師：黒川 聡 他病理・細胞研究班運営委員(京都医療センター、他)  
参加者：27人

会 員：12人

- 3) 日 時：平成17年02月05日(土) 14:00~15:30  
会 場：京都府立医科大学臨床講義棟2階南臨床講義室  
主 題：第20回京臨技精度管理報告会  
副 題：細胞検査  
講 師：川村 敏文(京都府立医科大学病理学教室)  
参加者：24人  
会 員：23人

#### H) 一般検査研究班

今年度の総括 「昨年に引き続き、基礎に重点を置き、たくさんの方に聞いていただける研修会の開催  
および、精度管理調査を通して一般検査分野の標準化を計る」

- 1) 日 時：平成16年06月09日(水) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室  
主 題：一般検査分野基礎研修会 1  
副 題：「尿定性検査の基礎と基本性能評価方法」  
講 師：岡田 和子(和光純薬工業株式会社)  
参加者：30名  
会 員：30名
- 2) 日 時：平成16年06月23日(水) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室  
主 題：一般検査分野基礎研修会 2  
副 題：「尿定量検査の基礎と基本性能評価方法」  
講 師：砥綿 佑治(アークレイ・マーケティング株式会社)  
参加者：22名  
会 員：22名
- 3) 日 時：平成16年07月14日(水) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室  
主 題：一般検査分野基礎研修会 3  
副 題：「便潜血検査の基礎と基本性能評価方法」  
講 師：飛 泰志(栄研化学株式会社)  
参加者：18名  
会 員：18名
- 4) 日 時：平成16年09月29日(水) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室  
主 題：一般検査分野基礎研修会 4  
副 題：「尿沈渣検査：血球・円柱類」  
講 師：角田 和史(北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所)  
参加者：30名  
会 員：27名
- 5) 日 時：平成16年11月24日(水) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室

主 題：一般検査分野基礎研修会 5  
副 題：「尿沈渣検査：上皮細胞類」  
講 師：江口 光徳（宇治徳洲会病院）  
参加者：25名  
会 員：22名

6) 日 時：平成16年12月11日(土) 14:30~16:00  
会 場：ビル葆光  
主 題：一般検査分野基礎研修会 7  
副 題：「髄液検査法」  
講 師：石川 正美（社会保険神戸中央病院）  
参加者：22名  
会 員：22名

7) 日 時：平成17年01月13日(土) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室  
主 題：一般検査分野基礎研修会 6  
副 題：「尿沈渣検査：異型細胞」  
講 師：佐伯 仁志（国立病院機構 京都医療センター）  
参加者：22名  
会 員：22名

8) 日 時：平成17年02月23日(水) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室  
主 題：精度管理報告会  
副 題：精度管理報告会  
講 師：角田 和史（SRL京都ラボクリエイト）  
参加者：27名  
会 員：22名

9) 日 時：平成17年02月23日(水) 18:30~20:00  
会 場：京都保健衛生専門学校 一階視聴覚室  
主 題：一般検査分野 研修会  
副 題：JCCLSによる尿試験紙の表示方法の統一と尿試験紙の偽陽性、偽陰性について  
講 師：鈴木 正隆（栄研化学株式会社）  
参加者：27名  
会 員：22名

## I) 微生物検査研究班

今年度の総括「感染症のグローバル化に伴い感染症検査を取り巻く環境は大きく変化してきている。そこで今年度は幅広い知識・技術の修得をめざし研修を企画した。講師との日程調整がつかず予定していた2企画を行なうことが出来なかったが、次年度に持ち越しとする。」

1) 日 時：平成16年06月19日(土) 15:45~19:00  
会 場：ぱるるプラザ京都  
主 題：第4回京滋感染症セミナー21  
副 題：- 肺炎の病態、診断と治療 -  
講 師：伊藤 穰（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

朝野 和典（大阪大学医学部附属病院感染制御部）

参加者：65人

会 員：25人

- 2) 日 時：平成16年07月09日(金) 19:00~20:30  
会 場：キャンパスプラザ京都  
主 題：下痢原性大腸菌の検査法について - EHECを中心に -  
講 師：黒川 学(神戸市環境保健研究所)  
参加者：12人  
会 員：12人
- 3) 日 時：平成16年08月07日(土) 14:00~18:00  
会 場：京都府立医科大学基礎医学学舎1階第2実習室  
主 題：日和見感染症、新興・再興感染症、人畜共通感染症の中の寄生虫症の診断  
講 師：山田 稔(京都府立医科大学医動物学教室)  
参加者：18人  
会 員：18人
- 4) 日 時：平成16年09月10日(金) 19:00~20:30  
会 場：ぱるるプラザ京都  
主 題：臨床医が求める感染症検査とその報告  
講 師：水谷 哲(大阪警察病院 感染管理センター)  
参加者：25人  
会 員：25人
- 5) 日 時：平成16年09月24日(金) 19:00~20:30  
会 場：キャンパスプラザ京都  
主 題：薬剤感受性検査  
副 題：検査室からの新しいアプローチ  
講 師：小松 方(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)  
参加者：25人  
会 員：25人

## J) 情報システム研究班

今年度の総括「今年度はPower Pointの初級編、Excelの中級編の講習会を行った。昨年度のExcel初級編、Word初級編とあわせて一通りの講習会を終えた。全体としては内容が濃すぎた感は否めず、少し駆け足の講習会になったと思われる。来年度以降はこのあたりを加味し、会員のより満足度の高い講習会を開催していきたい。」

- 1) 日 時：平成16年07月10日(土) 15:00~17:00  
会 場：京都保健衛生専門学校視聴覚教室  
主 題：Power Point(初級編)  
副 題：スライドの作成  
講 師：服部順子(元NECショールーム通信機器担当)  
参加者：15人  
会 員：15人
- 2) 日 時：平成16年09月04日(土) 15:00~17:00

会 場：京都保健衛生専門学校視聴覚教室  
主 題：Power Point（初級編）  
副 題：アニメーションを使ったスライドの作成  
講 師：服部順子（元 NEC ショールーム通信機器担当）  
参加者：19人  
会 員：19人

3) 日 時：平成16年09月24日（土） 15:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校視聴覚教室  
主 題：Excel（中級編）  
副 題：データベース処理  
講 師：服部順子（元 NEC ショールーム通信機器担当）  
参加者：22人  
会 員：22人

4) 日 時：平成16年10月16日（土） 15:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校視聴覚教室  
主 題：Excel（中級編）  
副 題：～ワークシートの活用～  
講 師：服部順子（元 NEC ショールーム通信機器担当）  
参加者：16人  
会 員：16人

5) 日 時：平成16年11月13日（土） 15:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校視聴覚教室  
主 題：Excel（中級編）  
副 題：～関数：IF, AVERAGE, VLOOKUP など～  
講 師：服部順子（元 NEC ショールーム通信機器担当）  
参加者：14人  
会 員：14人

6) 日 時：平成16年12月11日（土） 15:00～17:00

会 場：京都保健衛生専門学校視聴覚教室  
主 題：Excel（中級編）  
副 題：～関数：IF, AVERAGE, VLOOKUP など～  
講 師：服部順子（元 NEC ショールーム通信機器担当）  
参加者：14人  
会 員：14人

## K) 北部事業部

今年度の総括「本年度も、北部学会をはじめとし、地域の独自性にあった勉強会を企画し地域全体のスキルアップを目指した。ほぼ全領域にまたがる勉強会を開催することができ、情報交換の場としてまた全体の意識向上に寄与できたと思われる。地域で切磋琢磨し全体でレベルアップしていく環境作りにつなげていきたい。」

1) 日 時：平成16年07月15日（木） 19:00～20:30

会 場：舞鶴市西駅交流センター  
主 題：宿主とウイルスの攻防

- 講 師：高木淳（アボットジャパン株式会社）  
参加者：18人  
会 員：18人
- 2) 日 時：平成16年10月13日（水） 18:30～20:00  
会 場：舞鶴市西駅交流センター  
主 題：血液ガスの基礎と測定前エラーについて  
講 師：柳沢仁志（ラジオメータートレーディング株式会社）  
参加者：20人  
会 員：20人
- 3) 日 時：平成16年11月11日（木） 18:45～20:00  
会 場：舞鶴市西駅交流センター  
主 題：肝炎ウイルスと絵で見る免疫学  
講 師：高木淳（アボットジャパン株式会社）  
参加者：10人  
会 員：10人
- 4) 日 時：平成16年11月27日（土） 12:00～15:00  
会 場：綾部市 IT ビル  
主 題：第15回京臨技北部学術発表会一般演題発表  
参加者：97人  
会 員：94人
- 5) 日 時：平成16年11月27日（土） 15:00～17:30  
会 場：綾部市 IT ビル  
主 題：第15回京臨技北部学術発表会特別講演  
副 題：ICTをどのように機能させるか～院内感染対策の実践～  
NSTにおける臨床検査技師の役割  
講 師：荒川創一（神戸大学医学部附属病院手術部・感染制御部）  
小倉利一（アボットジャパン株式会社）  
参加者：110人  
会 員：95人
- 6) 日 時：平成17年02月23日（水） 19:00～20:30  
会 場：舞鶴市西駅交流センター  
主 題：尿定性検査のピットフォール  
副 題：尿試験紙の標準化を含め  
講 師：宮前英治（シスメックス株式会社）  
参加者：18人  
会 員：18人
- 7) 日 時：平成17年03月10日（木） 19:00～20:30  
会 場：舞鶴市西駅交流センター  
主 題：血中 -D グルカン・エンドトキシンの測定について  
講 師：村上尚子（和光純薬工業株式会社）  
参加者：16人  
会 員：16人

8) 日 時：平成17年03月17日(木) 18:45~20:30  
会 場：舞鶴市西駅交流センター  
主 題：輸血前後の感染症検査の実施と検体保存について  
講 師：田淵千代子(京都府福知山赤十字血液センター)  
参加者：16人  
会 員：16人

**L) 合同研修会(一般・病理・細胞・血液・情報)**

日 時：平成16年09月11日(土) 14:00~17:00  
会 場：京都府立医科大学附属病院 第5会議室  
主 題：デジタル画像処理と精度管理や著作権に関する概念と対策  
副 題：画像処理技術や考え方及び精度管理について  
講 師：鷲谷 清忠(秋田中通総合病院病理部)  
参加者：18人  
会 員：18人

# 平成16年度編集委員会活動報告

\* 敬称略 \*

京臨技会誌：2004.Vol.31 No1

平成16年度定期総会議案

名簿

平成16年度(社)京都府臨床衛生検査技師会 役員名簿

平成16年度 理事任務分担表

学術委員会

精度管理委員会

編集委員会

北部役員

研究班

平成16年度(社)京都府臨床衛生検査技師会 会員

平成16年度賛助会員

京臨技会誌：2004.Vol.31 No2

精度管理特集号

第20回京都府臨床検査精度管理調査報告にあたって

第20回京都府臨床検査精度管理調査参加施設

精度管理調査結果

病理検査、細胞検査、微生物検査、血液検査、血清検査、輸血検査、一般検査、生理検査、臨床化学検査

京臨技会報 No5

副会長に就任して 白波瀬 浩幸(市立舞鶴市民病院)

初めての学会参加 山中 千鶴(京都市立病院)

第53回日本医学検査学会(富山県)学会記録写真

京臨技会報 No6

第44回近畿医学検査学会 奈良で開催される

第54回日本医学検査学会の進捗状況と会員各位へのお願い

学術企画部 副部長 丹羽 紀実(京都大学医学部附属病院)

第44回近畿医学検査学会(奈良県) 学会記録写真

京臨技会報 No7

会員投稿

帰宅 ~ 水没した観光バスと同じ国道175号線にて~

M.S(市立舞鶴市民病院)

京臨技会報 No8

第54回全国学会の経理部はどうよ

白井 孝夫経理部長(京都大学医学部附属病院)

託児室あります(全国学会 京都)

自然災害被害の申告について 会長 清井 健司

薬・毒物検査研修会を京都で開催

感染管理看護師の微生物実習を行う